

令和2年度 セミナー 教科リフレクションシート

実施日	教科	名前	単元・題材名
7月3日(金)	社会科		未来を支える食料生産 ～米づくりのさかんな地域～
目指す子供の姿 単元を通して学習した稲作に携わる人々の工夫や努力(水の管理や品種改良, 農業機械の導入など)を根拠に交流しながら, 生産者や消費者の多角的な立場から自分の考えを深めたり広げたりしていき, これからも北海道の米づくりが発展していくことについて, 口述したり記述したりする姿。			
手立て 子供の立場や思考、根拠を可視化することで子供同士の対話を促す～II <ul style="list-style-type: none"> 本時では, 事前に座席型シート(前時に考えた各児童の意見(根拠)を記入したもの)を配付し, それぞれの意見や根拠をお互いに把握することで, 相手が何を重視して考えているのかに気づき, 自分の考えを深めたり広げたりしていくことができるようにする。 発表した意見を生産者と消費者の立場に分けて板書していくことで, これからの北海道の米づくりの発展で大切なことについて生産者や消費者など様々な立場や根拠から多角的に捉えることができるようにする。 			

1. 研究協議を経た成果と課題

(H:品種改良 P:PR T:地産地消 A:安心・安全)

時間	子供の追究の視点	教師の出の視点
14:21	[■■■■] H 品種改良(座席型シート) ↑Fs [■■■■] H (シート読む) [■■■■] P 暖かくても耐えられる。 暑くても育つように。 [■■■■] H もっと強くして, 安心して沢山食べられるように。(繰り返す) [■■■■] H (シート読む) [■■■■] H 品種改良を加えるとお米がよりおいしくなるから…消費量も増える。 ↑Fs [C] 似ているかも。 → [C] つながりそう。[C] いや。 [C] 環境の変化に…。 [■■■■] H 北海道米は品種改良で味も良くなった。 ↑Fs [■■■■] P 昔はおいしくないって言われていたけど, 品種改良で特Aに。	←相手意識。伝わった人。 そのためのシート。 ←どうですか?品種改良の主な理由。 ←暖かいとだめ?米って元々どういう地域で? ←暑くても。■■■■さんも。 ←伝わった?もう1回。 ←それを品種改良でやればっていうこと?■■■■さんも。 ←冷害って何だっけ?■■■■さんと似てるってこと? もっと強くすると発展?同じ立場の人。■■■■さん。 ←これって発展につながりそう?
14:31	→ [■■■■] H これから環境変わっていく。もっと強くおいしくしていく。 → [C] えーっ, PR, 気付かないかも。 [■■■■] (機械化) 機械化も必要。人も。 → [C] できるわけない。世話しない。 → [■■■■] H 人の少ないのを解消できるから。 → [C] 分かったけど納得しない。	←(資料)実際に北海道であったからやっているからいいんじゃない。 ←品種改良さえやっていたら安心でいいかな? ←先生もできる? ←機械化するとなぜ発展?■■■■のわかる人? ←人手少ないの?その根拠は?機械化すれば不足解消?納得した人?

14:36

→ [H] 人の少ないのを解消できるから。
 → [C] 分かったけど納得しない。
 [H] 品種改良すると、おいしくて安心安全。
 → [C] PR。
 Ls [T] 地産地消することで、北海道のお米を作る人にお金が行き渡る。在庫も減って余計な倉庫もいらぬ。
 ↑Fs・Ls [T] 地産地消とPR。生産者が少なくなっているから、お米を食べると210万人の生産者が嬉しくなる。参加してくれる人。PRと地産地消。
 ↑Fs [C] いいと思うけど。
 → [T] 自分たちが残さず食べる。
 [C] (挙手 十数人) (残す人 数人)
 ↑Fs [H] 品種改良するとおいしくて安心で、いろんな人に食べてもらえる。地産地消に繋がる。
 [A] 安心安全。理由は、外国から輸入すると、気候が違うから特徴も違う。
 ↑Fs [A] 伝わった。同じ立場。おいしさも大事だけど、安全でないと食べる人少ない。資料集 P41 ここまでする理由は、安全が大事だから。わざわざするのは、安全でないと売れないから。
 ↑Fs [H] P40 アイガモ農法。害虫・病気から守っているのが安心・安全な米づくり。
 ↑Fs [A] アイガモは害虫を食べる。農家は安心・安全を求めている。
 → [C] 必要。
 → [C] 農家さん。パイオは試験場。
 ↑Fs・Ls [] (農家の工夫・努力) 全て繋がっている。さんが言っていた。繋がっているって。
 ↑Fs [C] 同じ。
 ↑Fs [H] さんは品種改良でおいしい米を作ると地産地消にも繋がるし、安心・安全な米を作れるから、繋がりが見えてきた。
 → [C] 生産者。ぼくたち消費者が地産地消。
 → [C] 消費者も、北海道米食べている。
 → [] 給食、食育。
 → [C] 残すのはしょうがないけど食べている。
 → [C] 38%から78%まで上昇した。
 → [T] できるだけ地元で食べて地産地消。
 → [H] 教科書のP79 オの写真。農家の人と消費者で生産者の米を育てる手伝いをしている。
 ↑Fs [P] さん。米を作る大変さを自分たちで体験して知ってもらおう。

14:49

←機械化するとなぜ発展? のわかる人?
 ←人手少ないの? その根拠は? 機械化すれば不足解消? 納得した人?
 ←安心も入ってくるの? 品種改良と機械化でいいかな。
 ←納得してる? してない人もいる。
 ←さん、誰がやるって言ったの?
 ←食べられる人? 食べられそう?
 ←無理じゃない? さん。
 ←繋がる? 品種改良なんですよ。は?
 ←同じ考えの人。
 ←、伝わった?
 ←納得した人。アイガモ農法。
 ←今もやっているって勉強した。これからも必要なの?
 ←やってるの誰?
 ←つながり見えてきそう?
 ←繋がりが見えてきた。やってるの誰?
 ←ほとんど頑張っているのは生産者。
 ←残さず食べられない人もいる。頑張っていることあるの?
 ←お米残す。
 ←限界がある。
 ←ゆめびりか。北海道で北海道米食べている。地産地消の努力って何?
 ←そのためにしていること。、自分でできること。地産地消のためにできることはこれだけ?
 ←分かった? 伝わった人?
 ←それが自分たちにできること。これは、誰が誰のために?

	<p>→ [C] 農家が…。</p> <p>→ [C] 生産者が消費者のために。</p> <p>→ [C] 生産者が消費者のため。安心・安全。</p> <p>→ [A] 米をもっと食べてもらうために。</p> <p>↑Fs [T] 時間短縮して生産量を増やす。</p> <p>→ [C] 生産量アップ。短縮したら増える。安心・安全も改良できる。</p> <p>↑Fs [P] 同じ。PRしたら迷惑かからないし、たくさんの人に知ってもらう。</p> <p>[P] 分かってもらうことで農家を増やしたり品種改良もできる。</p> <p>→ [C] 自分たちが消費者に。</p> <p>→ [C] 消費者が消費者に。</p> <p>→ [C] もうやっている。</p> <p>↑Fs [P] レストラン。三輪さん。</p>	<p>←もう1回。誰が誰のために？</p> <p>←他のは、誰が誰のために？</p> <p>←機械化は？</p> <p>←時間短縮が<u>発展とどう繋がる？</u></p> <p>←生産者は生産量アップがポイント？こうた。</p> <p>←誰が誰にPR？</p> <p>←米の大切さをこの中で。PRの人は皆そう？ <u>生産者はしていない？</u></p>
15:00	<p>↑Fs [C] 教科書P78 HP。</p> <p>↑Fs [] (読む)</p> <p>→ [] 三輪さんがベーグルパンを作っている。</p> <p>↑Fs [C] クッキー、アレルギー。</p> <p>↑Fs [C] レストラン、HPも。</p> <p>↑Fs [C] 体験会も。</p> <p>→ [C] ある。</p> <p>→ [C] 消費者。</p> <p>↑ [C] 消費者に食べてもらう。</p> <p>↑ [C] 消費者がやっているのは生産者のため。</p> <p>→ [C] 消費者は生産者のため。</p> <p>→ [P] お米マイスター。</p> <p>→Fs [A] <u>繋ぎ</u>。西島さん、下から2行目。</p> <p>→ [P] (頷く)</p> <p>[A] 生産者が安心・安全で美味しいお米を作ろうとして機械化してお金かけても、まずくなったらムダ。美味しいお米を生産した方がいい。</p> <p>→ [P] 消費者が食べることが生産者のため。</p> <p>→ [C] 食べてほしい。おいしく食べてほしい。</p> <p>→ [A] <u>みんな繋がっていることが分かった。</u></p>	<p>←米粉について。</p> <p>←というPRをやっている。</p> <p>←いろいろやっている。<u>ますます繋がりが見えてきた。生産者から消費者の繋がりもあるのかい？</u></p> <p>←生産者がやっていることは<u>誰のため？</u></p> <p>←生産者は消費者のため。</p> <p>←消費者は生産者のため。<u>、繋がる？PR。</u></p> <p>←<u>マイスターはどの立場？</u></p> <p>←マイスターもいる。この人がPRのプロ？</p> <p>←生産者は消費者、消費者は生産者のためにやっている。<u>さんの考え。</u></p> <p>←この辺は生産者が消費者のため。なぜ消費者が生産者？</p> <p>←生産者はどうしてほしい？</p> <p>←これが増えると生産量アップ。<u>交流して自分の考え変わった人？</u> <u>結局何が大切か分かった？</u></p> <p>ノート</p>
15:00		

- 児童は、座席型シートをもとにお互いの考えを交流しながらパフォーマンス課題の解決策を関連付けたり、総合したりして構想しようとしていたが、児童の発言に対して教師の投げかけている言葉の意図が不明確で、子供同士のコミュニケーションが生まれにくくなっていた。授業者は、子供同士の発言をつなぎながら考えを深められるよう必要に応じて関わるべきだった。
- 開始15分頃に授業者はHさんが新たな視点をもっている児童であることを把握していたため指名した。その発言に対して反応しているMさんを指名することで多角的な視点につながる考えを生み出すことができていた。
- 一方で、Hさんが「地産地消することで、北海道のお米を作る人にお金が行き渡る（儲かる）。そうすると、在庫も減って余計な倉庫もいらぬ。」と発言したことは、授業者は想定できておらず、「納得した

人？」と全体に投げかけてしまった。発言内容の意味について全体に投げかけることで、生産者・消費者・地産地消を関連付ける方向にするべきだった。

- Mさんが上記 Hさんの発言を受けて「地産地消と PR が大切。理由は、生産者が少なくなっているから、お米を食べると生産者が嬉しくなる。だから、（米づくりに）参加してくれる（人も増える。）」と発言した。消費者と生産者をつなぐ「地産地消を PR する」という児童の構想が表出した場面だったが、授業者は当該児童の「自分たちが残さず食べる」という発言を想定していたため、「誰が（何を）やるって言ったの？」と揺さぶってしまった。「地産地消」に対する授業者の位置付けが弱かった。
- 開始 24 分頃、Nさんの家庭環境にある背景まで意識した上で、想定通り「安心・安全」のフレーズを引き出すことができた。その発言によって、「生産者と消費者のつながり」という視点が増えてきた。
- この発言が、Kさんの「これって、全部つながっていると思う」という発言につながった。Kさんが Ls の發揮となるよう、「つながりが見えた人？」と全体へ問い返すことで、多くの児童が生産者と消費者のつながりを意識することができた。座席型シートをもとに児童の思考を把握していることや掲示物による学びの蓄積・見える化（学習環境の整備）が有効的に働いていた。
- 全体的に、授業者は児童の追究の流れを想定できていなかった。児童の思考の筋道を予想し、生産者と消費者、地産地消と PR がどのように構想されて総合化されるか見守りながら、自分たちはどの立場から何ができるのか問うなど、授業者が適切に関わることができるよう構想しておく必要があった。

2. 授業者および教科担当者からの本時の考察と評価改善の見通し

- 今後の教科提案改善と授業改善の見通し（次頁に授業改善の具体案を提示）

6. 本時の展開 (11/12)

(1) 本時の目標

生産者の高齢化（後継ぎ不足）や消費量・生産量の減少など稲作農家が抱える課題について、水の管理や品種改良、農業機械の導入など、稲作に携わる人々の工夫や努力を根拠に話し合いながら、生産者や消費者の多角的な立場からこれからの北海道の米づくりの発展を続けていくことについて考え、口述したり記述したりする。

(2) 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の姿</p> <p>教師の働きかけ（○発問、△補助発問、□指示・説明） 手立て</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>◇評価の内容</p> <p>・指導上の留意点</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">北海道の米づくりが、これからも発展し続けていくには何が大切かな？</p>	
<p>1 前時の学習内容を振り返り、これからも北海道の米づくり農家が発展を続けていくには何が大切か、自分の思いや理由(根拠)を発表し合う。Ⅱ</p> <p>□なぜ、そう思ったのか、自分なりの思いや理由（根拠）を伝えよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【生産者】</p> <p>安心・安全な米づくり</p> <p>品種改良でもっとおいしくする</p> <p>⇒消費者が求めているから。</p> <p>農業体験活動を増やす</p> <p>⇒PRすると、生産者が増えるかもしれないから。後継ぎ問題が解決する。</p> <p>機械化をさらに進める</p> <p>⇒農作業が楽になるから。生産者が増えるかもしれない</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">⇔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【消費者】</p> <p>ごはんをたくさん食べる。残さない</p> <p>⇒消費量が増えるから。生産者のためになる。</p> <p>米粉を使ったパンの販売</p> <p>⇒使い道を増やすと、消費量が増えるから。生産者のためになる。</p> </div> </div>	
<p>2 出された考えを全体で交流し、自分の考えをまとめる。</p> <p>□ 他の人の考えも聞いて、書き直したり、書き足したりして自分の考えをまとめよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・農家の努力がもっと必要だと思っていたけど、お米をもっと食べるとか自分にもできることがあると思った。</p> <p>・農家の人の努力も大事だけど、自分たちにできることもやって、みんなで協力してがんばっていくことが大切だと思った。</p> <p>・品種改良とかも大事だけど、やっぱり機械化を進めて簡単に米づくりができるようにしていくことが大切だと思った。</p> </div>	
<p>・前時の各児童の考えをまとめた座席型シートは、事前に配付しておく。</p> <p>・座席型シートをもとに、前時で考えた各自の考えを板書で可視化していく。</p> <p>・板書をもとに、これからの北海道の米づくりの発展における共通点や関連性を探ることでできるようにする。</p> <p>【思・主】</p> <p>◇「これからの北海道の米づくりの発展」について、学習したことを根拠に交流し、生産者や消費者の立場から多角的に考え表現している。</p>	

6. 本時の展開 (11/12) **修正案**

(1) 本時の目標

生産者の高齢化（後継ぎ不足）や消費量・生産量の減少など稲作農家が抱える課題について、水の管理や品種改良，農業機械の導入など，稲作に携わる人々の工夫や努力を根拠に話し合いながら，生産者や消費者の多角的な立場からこれからの北海道の米づくりの発展を続けていくことについて考え，口述したり記述したりする。

(2) 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の姿</p> <p>教師の働きかけ (○発問, △補助発問, □指示・説明) 手立て</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>◇評価の内容</p> <p>・指導上の留意点</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>北海道の米づくりが，これからも発展し続けていくには何が大切かな？</p> </div> <p>1 前時の学習内容を振り返り，これからも北海道の米づくり農家が発展を続けていくにはどのような方策が大切か，自分の思いや理由(根拠)を発表し合う。Ⅲ</p> <p>□なぜ，その方策が大切だと思ったのか伝えよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【品種改良】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の気候に合う ・冷害に強い ・もっとおいしくするために </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい (トラック) ・費用をおさえられる (輸送) ・北海道米の消費量が増える </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【機械化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継ぎ不足の解消 ・働く人の減っているから ・作業時間の短縮 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">【PR活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費量 UPにつながる ・自分で手軽にできる ・農業体験などすばらしさを PR </div> </div> <p>△「生産者 (消費者) だけが頑張れば，発展するということですか？」</p> <p>△「もし自分が生産者 (消費者) の立場で考えたらどうですか？」</p> <p>△「地産地消とPRはどのように関係していますか？」</p>	<p>・前時の各児童の考えをまとめた座席型シートは，事前に配付しておく。</p> <p>・座席型シートをもとに，前時で考えた各自の方策と根拠を板書で可視化していく。</p> <p>・板書をもとに，これからの北海道の米づくりの発展における共通点や関連性を探ることできるようにする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・生産者と消費者の立場で分けていくのではなく，方策と根拠を整理していくことでつながりを見出す。</p> <p>・児童の思考の流れに沿って，つながりを見出すための問い返しまたは発問をする。</p> </div>
<p>2 出された考えを全体で交流し，自分の考えをまとめる。</p> <p>□ 他の人の考えも聞いて，書き直したり，書き足したりして自分の考えをまとめよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・農家の努力がもっと必要だと思っていたけど，お米をもっと食べるとか自分にもできることがあると思った。</p> <p>・農家の人の努力も大事だけど，自分たちにできることもやって，みんなで協力してがんばっていくことが大切だと思った。</p> <p>・品種改良とかも大事だけど，やっぱり機械化を進めて簡単に米づくりができるようにしていくことが大切だと思った。</p> </div>	<p>【思・主】</p> <p>◇「これからの北海道の米づくりの発展」について，学習したことを根拠に交流し，生産者や消費者の立場から多角的に考え表現している。</p>

・単元を通して，パフォーマンス課題に対する自分の考え (方策と根拠) を問い続ける。(座席型シートの蓄積と活用)

・本時においては，前時までの様相と座席型シートをもとに児童の思考の流れを想定し，授業者の関わる場面や関わり方を整理しておく。

3. 運営面で気付いたことなど

- ・ zoom の使用した研修にはまだまだ手探りの部分もたくさんあると思いますが、現在、附属小中で実施している研修やセミナー在り方が今後のスタンダードになっていく部分もあると思います。（※例えば、コロナ禍ではなくても管内ごとの単位が多い教科研究会ごとの研修などは、長い時間かけて移動しなくても研修が行えるなどのメリットがあります。）このスタイルを継続していくことにも価値があると思います。

4. 自由記述欄（参観者の感想インタビューや情報収集等）

- ・ 座席型シートの在り方と効果について、今後、考えていく必要がある。
- ⇒ロイロノートの有効的な活用方法について模索していく。（ICT 機器の小と中の配分バランス）
- ・ パフォーマンス課題を常に意識できるような単元構成と展開の在り方。
- ・ 児童が考え続けられるような教師の問い返しの質を向上させていくこと。